

あなんちょう



議会だより

第100号

令和7年2月1日

記念特集号

新野の雪まつりお競馬面化粧きょうまん (諏訪社 1月13日)

主な内容

- | | | | |
|------------------|-----------|-----------------|-------------|
| ◆ 年頭あいさつ 議長 | 2 | ◆ 一般質問 | 7~11 |
| ◆ 新年あいさつ 議員 | 3 | ◆ 阿南町議会視察研修を終えて | 12~13 |
| ◆ 第6回議会定例会報告 | 4~5 | ◆ 議会だより100号を迎えて | 14~16 |
| ◆ 町長あいさつから・議会の動き | 6 | ◆ 編集後記 | 16 |



年頭あいさつ

議長 伊藤 公市

新年あけましておめでとうございます。昨年中はひとかたならぬご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、振り返ってみますと、内外ともに多難な年でありました。世界では、今だ収束をみせない戦禍。国内では、これらに端を発するとみられる諸物価の高騰。また、元日に起こった能登半島地震。これを始めとし各地で起こった大規模な自然災害。コロナは、収束にむかっている感はありますが、インフルエンザも油断なりません。

新年を迎えましても、課題は山積ですが、今年度から始まる総合計画の後期計画を柱に、心新たにわが町の飛躍の年となりますよう、議会も町民とともに歩んでまいりたいと思います。

今年もより一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。結びに、この一年が町民の皆様にとって健康で、実り多い年でありますようお願い申し上げます。



どんど焼き (栗野4区 1月12日)

新年あいさつ



太田 直昭

昨年の重大ニュース。自公政権過半数割れ、ノーベル平和賞 日本被団協が受賞、日本の進路は？
日本社会全体も、阿南町も変革のときを迎えている。新年度に向け飛躍!!



尾崎 真理子

迷い多き年が過ぎ、今年はやるべきことに集中して取り組むことが目標です。視野を広くもち、みなで面白がって楽しくできるように考えたい。みなさまにとって健やかな年になりますように。



小泉 健一

教、医、福、産…難課題の根源は人口減少。「減少上等!」位の気持ちで町財政を加味し、幸せな日常が持続可能に担保できる町づくりのため、一層の覚悟で臨む一年…。一緒に声を上げましょう。



平塚 伊久夫

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。



小澤 亮子

再生、成長の年といわれる新年が明けました。何を一番大切にすべきかを念頭に、委員会として福祉・学校等課題の山積する分野をよりよい方向へ。現場の声を聞くこと。あきらめずにみなで力をあわせてチャレンジしましょう!



村澤 博光

人口減少対策、子育て支援、介護など人材確保と賃金アップ、空き家対策、健康長寿推進、農業、林業への直接支援、商業を守る施策、自然災害対策、平穏な暮らしを壊す戦争のない世界の実現を、なにより憲法を暮らしの中に活かすよう努めます。



小澤 公隆

新年おめでとうございませす。世界中の紛争が終息し、大きな自然災害も無い穏やかな一年となりますように。



金田 豊

ウクライナや中東での戦争が早く終わることを願わずにはいられません。今年も、戦争の準備のために8兆円を軍事費に使う政府でなく、核禁止条約にも参加する政府を作ろうではありませんか。



藤澤 隆壽

「賀春」全国的に人口減少が進む現在、町も同様課題が山積している。来年度(25年度)から5年総合戦略後期基本計画が提案されます。町人口が昨年は四千名を割り込み、高齢化が進む現状に歯止めをかけました、その他の施策を、着実に実行していくため行政議会が一体となりスタートの一年と位置づけ、希望ある町づくりを目指して取り組みます。



平松 三武

明けましてお目出とう御座います。町の取り組みが多い中、本年は巳年となり巳のように粘り強く、一つ一つ着実に実施していくため、町民の皆様様の声を反映できるよう努めて参ります。

第6回議会定例会(12月) 報告

第6回議会定例会は、令和6年12月5日(木)開会。10日(火)に総務産業建設常任委員会、11日(水)に社会文教常任委員会、12日(木)に予算決算常任委員会が開催された。本会議の再開は18日(火)に行われ、提案された全議案原案通り可決された。

- 先決処分事項報告(衆議院議員選挙事務、ふるさと納税業務に関する一般会計補正予算)を承認
- 条例改正5件、補正予算4件、その他案件2件(各常任委員会付託案件)
- 議員、常勤特別職、職員

総務産業建設常任委員会

12月10日(火)午後2時から協議会室に於いて開催。付託案件4件について審議した。

主な審議内容

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
- 町営住宅の管理に関する条例の一部を改正する条例

後、職員退出。委員会としての地域懇談会について具体的に検討した。

主な審議内容

- 福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について
- 高齢者生活福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 町立小、中学校設置条例の一部を改正する条例について

以上3件審議結果

原案可決すべきもの

- 和合辺地対策統整合備計画の変更について
- 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて

以上4件審議結果

原案可決すべきもの

社会文教常任委員会

12月11日(水)13時半から協議会室に於いて開催。付託された条例改正3件審査後、別件2件を質疑討論

予算決算常任委員会

12月12日(木)午前10時から協議会室にて開催。付託案件4件について審議した。

令和6年度一般会計補正予算(第4号)

温泉再開…ポンプ故障原因

源泉湯水位低下!!

歳入歳出2、236万7千円追加補正
(総額47億9、861万8千円)

歳入の主なもの

地方交付税、国・県支出金、地方債等

歳出の主なもの

かじかの湯源泉ポンプ修繕工事等追加、町道大下条8号線川田改良費等増額、防災ヘリポート建設事業費等減額

主な審議内容

かじかの湯源泉枯渇か!?

● かじかの湯源泉ポンプは源泉水位低下によるポンプ異常動作が原因だったが、枯渇の可能性と調査は。

▲ 今は水位戻っているが、現段階で調査考えていない。将来、枯渇なら、温泉施設の在り方検討必要。

米価値上り、支援金増は!?少ない!?

● 水田農業経営持続化支援金1,000円増額したが、米価が値上がり、もつと増額しても良かった。販売農家だけでなく農地



かじかの湯源泉ポンプ

利用全農家への支援策も検討を。

ふるさと納税返礼割合に関わるので、検討必要。新たな支援財源見込めない。

中学統合情報公開ごまめに

◎ 中学統合準備委員報酬補正は住民と保護者分か。会議経過をごまめに情報公開されたい。



平和殿付近の整備状況



統合後は第一中学校校舎利用

▲ 住民、保護者各9名分、1月から3月まで3回分

令和6年度 一般会計補正予算(第4号)主なもの

歳入	単位：千円
町債	17,500
地方交付税 (特別交付税)	15,340
国庫支出金(負担金 6,609、補助金△ 8,754)	△ 2,145
県支出金	△ 8,004
歳出	
かじかの湯源泉湯ポンプ故障修繕	9,680
町道大下条 8 号線(川田)委託料・工事費	6,502
中学校教科書改訂	5,210
障害者自立支援費	3,453
児童手当	3,115
水田農業経営持続化支援金事業	1,522
有害鳥獣駆除事業補助金	1,508
森林整備・町有林間伐事業等	△ 13,700
町道(大下条 59 号線他 3 路線)測量設計	△ 20,900

コミュニティの森繰越!

◎ 9月発注コミュニティの森工事を今回補正で繰り越しとしたが、発注時想定されていたのでは?

▲ 掘削始めて、当初見込まない岩掘削発生した。

◎ 平和殿はどうなるか。

▲ 工事進捗により移転か、風対策等を検討。

◎ 以前要望した完成後の利用増対策等計画が未公表。

▲ 調整中。



コミュニティの森整備全景(5ヶ年計画の初年度)

令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出 6 6 3 万 8 千円追加補正

(総額 4 億 7, 7 8 7 万円)

令和6年2月分医療費の県負担額確定による返還金増

主な審議内容

特になし

令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出 1 9 1 万 6 千円減額補正

(総額 8 億 8、 3 8 9 万円)

人件費及び保険給付費の減額が主なもの

主な審議内容

るが、対策は。

認知症の方の財産管理課題

▲ 親族がいない方は、社協、包括で相談は受けるが、後見人等出せず、照会のみとなる。今後の課題。

◎ 認知症の方が増え、財産管理等難しくなる事例あり

令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入支出 57 万 2 千円追加補正

(収入 2 億 4、 2 3 4 万円、

支出 1 億 8、 1 4 6 万 7 千円)

水位計と破砕機の修繕工事増が主なもの

主な審議内容

特になし

以上4件審議結果

原案可決すべきもの

- **GDPも世界4位まで転落。**詐欺、強盗殺人、政治と金、さらにはパワハラ、カスハラなど日本の社会や地域の存在が忘れられつつあります。10年、20年後の日本国民の貧困化や、能登半島地震と9月豪雨など、地球環境の変化に対応が必要と思われま。
- **103万円の「年収の壁」が議論されていますが、**末端の地方行政には大きな影響が及ぶと思われま。当町では5~6千万円の住民税の減収と試算しております。町では物価高騰対策として、「生活応援商品券事業」として一人に2万円分の給付を行います。
- **10月の衆議員総選挙から移動期日前投票所設置。**89人が利用。投票率62.92%で前回より0.77%の微減。
- **議会からの「令和5年度決算認定にあたっての要望書」**の内、ひだまりの郷、サンあなんで構成の「福祉連絡会」と町が連携し、福祉法人連携体制構築推進。
- **阿南町第6次総合計画後期基本計画**(令和7年度から11年度まで)素案のパブリックコメント等を経て3月中の策定予定。
- **中学統合、**11月までに全地区で説明会開催。学校複式化を避け、県費教員確保。同環境下で学び、人間関係構築、多様な子どもたちの個性を尊重し、個の能力を伸ばす教育が可能。
- **「県道深沢阿南線」の通行止めや、「阿南温泉かじかの湯」ポンプについても、**12月中に復旧します。
- **ふるさと納税については、「米不足」「米価高騰」**対策として、「水田農業経営持続化支援金」購入基準額を一俵1,000円の増額としました。

議会の動き

1月

21
22日
5日
阿南町消防団出初め式(阿南文化会館) 全議員
関東地方整備局要望(東京)、国交省要望(東京)
西南部議会研修会(下條村) 全議員

12月

18日
12月
11日
10日
5日
12月定例会 開会
総務産業建設常任委員会
社会文教常任委員会
予算決算常任委員会
12月定例会 再開
議会全員協議会

11月

22
23日
13日
27日
29日
22日
12日
地方自治政策課題研修会(Web)
南部地区議員会提言活動(東京) 議長
国保運営協議会研修会(安曇野) 国保委員
町村議会議長会全国大会(東京) 議長
議員視察研修(新潟県) 全議員
議会運営委員会
議会全員協議会

10月

28
29日
19日
18日
10
11日
9日
HHO(高濃度水素酸素ガス)視察(中津川市) 全議員
南部地区議員会県要望(長野市) 議長
県議長会定期総会(長野市)
福祉祭り 全議員
県境域開発協議会道路部会国要望(東京) 議長
郡議長会議員研修会(豊丘村) 全議員

9月

27日
24日
県議長会全体研修会、各部会(長野市) 議長
建設事務所現場説明(深沢阿南災害)
阿南町議会と建設事務所との懇談会 全議員



県建設部長へ要望 (10月11日)

一般質問



一般質問録画放送は「令和6年12月定例会YouTubeチャンネル」からご覧ください

一般質問は初日に8人が行いました。

●小泉 統合準備委員会に、子どもメンバの予定は。
 ■教育長 統合準備委員会、校名、校章、校歌、制服、教育課程、学校行事、日課、交流、式典、通学路、生徒会、PTA、部活動等決定していく。想定メンバ、教職員、PTA、地区住民

問 中学統合、現中学生在校中に一年でも早く!!



小泉 健一

卒業後の令和9年4月統合

●小泉 充分時間はある。町民理解を。また、富士見町では、1年位で統合。令和8年統合等、1年前倒しは。今の中学生卒業前に一日でも早い統合を。
 ■教育長 統合5年かかると言われるが、2年3か月と決断。子どもたちに負担かからない状態で統合。ま

から各9名予定で委員30名以内。その下に、専門部会設置し、子どもたちにはオプザバー参加で意見等反映し、関わってもらう。
 ●小泉 校名は、今議会上程。半世紀以上の問題、校名含め、町民納得の上決定を。
 ■教育長 校名、時間的余裕ない。「阿南中学校」で、準備委員会最終的判断を。

●小泉 生徒によりよい環境を提供するのが本筋。ストしは3年後でもかかるし、助け合いが将来の宝。一刻も早い経験をさせて欲しい
 ◆町施策、事業等決定プロセスについて

その他の質問



富草地区中学統合説明会 (11月20日)



平松 三武

問 深見地域の国直轄地すべり 工事で安全安心な生活を

国交省では40億位かけ工事を実施している

●平松 深見地域を中心にすべり地区で生活されている皆様のより一層の安全と安心を。

■町長 去る8年近く前になりましたが、吉田博美幹事長の祝の後、調査費をお願

いし、その結果阿南町、天龍村へ200億円との大きな予算を付けて頂いた。現在も工事進行中であり、阿南町は40億円位になる。この工事に、今後発生すると言われる南海トラフ、東海沖地震に持ちこたえてくれる事を祈りたい。

(工事の町村負担は0円)

その他の質問

◆かじかの湯の湯の再開について

◆門原住宅予定地の今後について



集水井 20m 位から 30m ~ 35m に



集水井作業現場 (深見)

問 食料安全保障について

国の計画をみながら検討していく



金田 豊

●金田 令和の米騒動の原因は米の需要が減少しているから、生産目標を引き下げ続けてきたからではないか。米農家は2000年の174万戸が、2023年には57万戸と大きく減少した。

■振興課長 令和の米騒動

の原因は、令和5年産米が、猛暑や災害による被害を受け回る数量が少なくなったこと。多くの外国人が日本を訪れ米の需要が高まった。家庭の備蓄米の増加。米不足報道による不安感で足りなくなる前に買っておこうという心理からさらに米不足が進んだ。

●金田 そこで、今後どうするか、この地域の米を作っていく力が弱っている。今、国が行っている中山間地域直接支払制度の、補助金を上乗せすることができないか。また、町独自でやっている水田農業経営持続化支援金の制度を見直して、作付面積に対して支援することを検討したい。

農業新聞によると、「いざというときに国民の命を守るのを国防というのなら、食料、農業、農村を守るためには食料安全保障が一番の国防。今こそ農林水産予算の枠を超えて、安全保障

予算という大枠で捉え、国民の食料と農業、農村を守るために、抜本的な政策と予算が不可欠」。

■振興課長 現在の中山間地域等直接支払事業交付金は、14組織で面積43・6ha 金額は856万円。国が2分の1、県が4分の1、町も4分の1を負担している。町単独で拡大をすることは、財源等の関係から現在は考えていない。

自給的農業を含めた支援については、国の計画の公表を見ながら、町として検討していく。

持続化支援金は、ふるさと納税の返礼の関係と併せて検討していく必要がある。



農家の保有米



小澤 亮子

問 幸せな共生と環境保全のために犬猫不妊去勢手術費用の助成を

地域と共に考えるべき問題

●小澤 猫は飼い主の感覚の違いからトラブルにつながるものが多々あり、旧村単位4地区とも、外飼いか野良猫か不明だが餌を与え多頭繁殖、ふん尿被害も含め、近隣で困っているケー

スが複数存在するが、苦情を役場に言いにくく近所なので我慢している方がほとんど。状況を見かねて近隣の捨て猫や野良猫を数度保護・捕獲し手術を個人実費で何件か実施した方もあり、人や地域と家族である犬や猫が共に幸せに暮らす意識改革のため、まず町は、不妊去勢手術費用の助成制度策定の検討を。飯伊で助成がない町村は当町を含め残り3町村のみ。動物愛護法では虐待で死傷させると5年以下の懲役か50万円以下の罰金。虐待・遺棄は1年以下の懲役か100万円以下の罰金が課せられる。

■建設環境課長 苦情等の件数は令和5年が3件、今年度は5件で、ふん尿等被害2件、捕獲依頼3件。過去に犬猫の多頭飼育で苦情があり、飯田保健所と協力しながら指導を実施しているが、飼育者の意識や考え方が止まない状況。猫を誰が管理すべきかとの意識を改善しなければ、補助制度を作っても苦情は減っても収まらない。地域と住民の皆さんと共に考えるべき問題であり、前回の質問後は広報等でもよく周知している。



あなたも大切な家族です

その他の質問

- ◆ふるさと納税と学校給食の米不足、現状と今後は
- ◆地域おこし協力隊募集サポートセンターの立ち上げと技術指導の受入れを
- ◆「健康あなん21」策定。医療介護の現状を町民と共有し、より具体的な健康づくりに行政主導町民参加型で取り組むべき

問 環境問題について 浄化槽改修支援について

下水道料金改定会議にて検討



平塚伊久夫

●平塚 浄化槽を整備してから約30年が過ぎ改修が出てきている。今後経年劣化による改修補助を。

■建設環境課長 町内において合併処理浄化槽を設置する者に対して補助しており、本体の更新についても新設設置と同様に補助の対象。令和5年度より合併処理浄化槽送風機修繕補助金を創設。

近年、経年劣化の取り替えが増え、今年も何件か実施。今後、下水道料金改定会議の折に、合併処理浄化槽の初期費用を含め農集排との負担均衡が図れるよう検討する。

●平塚 撤去費について。

■建設環境課長 そういうものも含め、現状の問題等

◆農業と鳥獣被害問題

◆通学路にサルが出て来ている危険性

その他の質問



簡易浄化槽工事



鳥獣対策を



村澤 博光

問 トイレトレーラー導入検討を

業者と仮設トイレ提供の協定を結んだ

に深刻。
NPO法人日本トイレ研究所の衛生に関する意識調査等によると被災3日後でまだトイレで困っている人が避難所では7割。

南海トラフ地震は、大都市圏を中心に広範囲に及ぶ大きな被害が予想され、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が非常に大事。

1台で約1,200回の排せつに対応し、価格は2,400万円。国が7割の負担、設置自治体22、導入検討自治体は約300。阿南町でも、トイレトレーラーを導入の検討を。

■**総務課長** 被災地においてトイレの問題が深刻、能登半島地震の際にも報道で報じられ、町の派遣職員からも重要性について話を聞いている。

町では携帯トイレや簡単な簡易式トイレを用意している。

●**村澤** 南海トラフ地震の臨時注意報が出され、議会では地震の時どう対応すべきか学ぶため中越地震中心地の山古志、小千谷市を視察し、小千谷の前市長の体験発表をお聞きすることもできた。

特にトイレの問題が非常



トイレトレーラー導入を

は検討したが、業者と仮設トイレを優先的に町に提供できるという協定を結んだ。自宅の便座を活用、ビニール袋や凝固剤を使用、ゴミとして捨てる携帯トイレセットはホームセンターでも購入できる。

その他の質問

◆**町営住宅の耐震化は**
◆**高齢者等のゴミ出し支援を**

◆**介護保険、保険料支払ってもサービス受けられないのは国家詐欺では**



尾崎真理子

問 給食の地産地消推進のため積極的な働きかけを

可能な範囲で業者も協力

推移グラフがあり、もともとが高くない。地産地消を推進するという理念の下に食材を購入するのであれば調整が必要。現状は個々の栄養士の努力に負うところが大きいのでは。関係者、生産者、調理員、栄養士、納入業者、など関係者が協議し合意することが必要で、それを調整するのが行政。

■**教育長** 野菜類を全て町内産で賄うには課題がある。地域の産物の理解を深めるための交流事業も行っている。

●**尾崎** 利用率を少しでも上げていくことが大切。課題があるから難しいではなく、地元の農産物を使うためにはどうすればいいかを協議し、できることから始める。

●**尾崎** 給食で阿南町産農産物の利用率が低下しているが、食材購入のあり方は、率を低下していないと認識している。納入業者には規格、価格等も踏まえた上で可能な範囲内で地元食材の調達に協力をお願いしている。

●**尾崎** 第4次阿南町食育計画には約10年の利用率の



給食

内学校へ地元の農産物や加工品が利用できる仕組みづくりの取組を行うと明記されている。計画にある以上は積極的な取組が必要である。

地域内で自給率を上げることが地産地消を推進する大きな目的だ。7割を占める町の小規模農家の農産物を給食に優先的に利用することで農産物の出口ができて循環する。地域住民全体で取り組む必要があることから、しごとく活動を続ける。

その他の質問

◆**「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」施行をつけ、町の考え**



藤澤 隆壽

問 小型家電等の収集 所建設を

収集方法について今後 検討していく

●藤澤 小型家電パソコン、ディスプレイ等の使用不能となった物品の処理について当町は現在処理収集所がない。パソコン等普及され今から約40年前頃で、現在は当時のパソコン等が改良された物が活用されており、古い物についての処理に苦慮している。現在の処理については販売店に引

き取ってもらおうか、メーカーに直接処分を依頼する方法である。処理収集所建設設置により業者と契約し対応している他村があるので参考に建設を。

■建設環境課長
パソコンは、

専門業者が回収。収集の方法につ

いては資源有効活用促進法

に基づいて集めている。泰

阜村では「使用済み小型家

電電子機器等の資源の促進

に関する法律」、通称小型家

電リサイクル法に基づいて

集めている。町はパソコン

以外の全ての小型家電につ

き田上の処分場と、不燃ご

みでいつでも出せる。

個人パソコンは町内で年

間それほど出るとは思えな

い。いずれは収集方法等も

検討していかざるを得ない

が、現在の処理方法とさせ



小型家電の処理収集所設置を

その他の質問

◆ペットボトル用ゴミ袋について。1・8ℓ入り容器が多く活用されている。現在使用しているビニール袋の拡大袋の導入を。

◆期日前投票投票率向上策について3月議会で質問し

た自動車による移動投票が

今回10月に実施された。衆

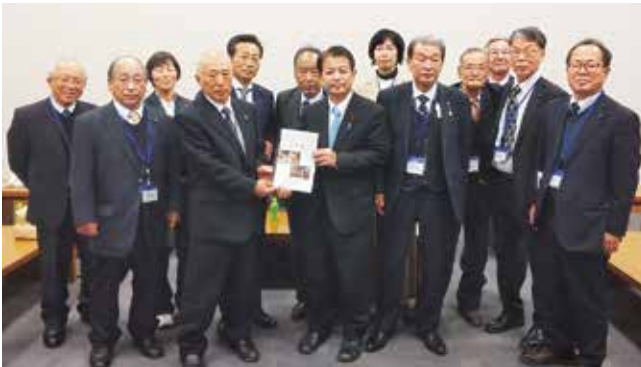
議院選挙で投票率の向上が

図れ効果あった。今後も日

数、場所、回数を増し実施

にむけ検討を。

国等への要望活動 国道418号バイパス



宮下一郎衆議院議員への要望
(1月21日)



国土交通省関東地方整備局野坂道路部長への要望
(1月21日)



財務省菅野国土交通公共事業総括係担当主計官への要望
(1月22日)



国土交通省橋本大臣官房審議官への要望
(1月22日)

阿南町議会視察研修を終えて

11月22・23日 長岡市(旧山古志村)、小千谷市

2004年10月23日中越地震発災 中越地震からの20年 もしもにそなえて

2004年(平成16年)10月23日夕刻新潟県中越地方で最大震度7の地震(その後2時間のうちに5強から6強の余震が4回発生)を体験した新潟県長岡市(旧山古志村)と小千谷市へ視察研修に訪れた様子を報告する。

地すべりで川を堰き止め河道閉塞発生【旧山古志村】



小千谷市指定避難所(体育館)
最大時3,000人が避難



集落道路が不通となる【旧山古志村】

議員研修視察で中越地震から20年経ち新潟県長岡市山古志地区と小千谷市災害地域を訪ね、災害と復興の話を実際に経験した方や役場担当職員(災害被害者)の案内で資料館での説明を聞き地震災害の危機感を再度確認出来たと思います。地すべり災害が阿南町平久区経験し、災害に対する危機感と再確認を問い

ました。二十年目の中越へ阿南と同じ中山間地の旧山古志村。これまで地震とは無縁の地で起きた震度6強の中越地震。印象的だったのは、発災二日後にへりによる全村避難と、仮設住宅で大切にされた地域コミュニティ。そし

平塚 伊久夫

ました。

小澤 亮子

か？



発災翌日、稲刈り後の藁を燃やし暖をとった【旧山古志村】

て3年後に村民9割が熱望した帰村を実現したこと。経験がないからこそ知ること、常にイメージを持ち、みんなが災害に備えていかなければと痛感。

尾崎 真理子

あのような災害が起きたら何もできない。だからこそ被害を最小限に食い止めるための備えが必要。山古志の「デジタル村民」の試みは、実質ひとりふたりが担っている。地域はこれから、どんなありかたが可能か？



小千谷市元市長(発災時は課長)による復興体験説明



長岡市職員(旧山古志村職員)による被災時説明

事 地震でも土砂災害でも襲ってきたそのその時を

金田 豊

山古志村へ行って感じたこと。コミュニティの賜物。落長からの避難報告。村一カ所の避難所内でも集落ごと固まって生活。常

小泉 健一

中越地震発生から2日後、避難指示発令。自衛隊へリにより長岡市へ全村避難完了。山古志村でのこの驚くべき結果の裏には日頃からの地域コミュニティと住民同士の信頼関係の深さとともに村長の状況把握力と決断力があつたとの話は今後参考にすべきところです。

小澤 公隆

生き延びれば、あとは何とかなるのではないかと。地震はいつ来るかわからないが、土砂災害は予報が出る。タイミングを逃さないのが大事。

藤澤 隆壽

中越地震は過去に少ない直下型地震であり、被害は誰もが予期しない体験で想像以上に大きい被害を受けた。

小千谷市、当時の山古志村の対応では迅速な復旧に取り組み、全国的にモデル地区として注目された自治体であり、今迄全国各地から研修に来ている。研修では当時、小千谷市長から受講を受けた内容で特に重要なことは、自助公助の精神の意識付けにより行政、住民が一体となり地震への知識を身に付けておくことであると指導されました。



小千谷市被災者応急処置



全村避難と村へ戻るを強く解いた旧山古志村長の頑張りノート



旧山古志村ボランティアによる救護所



小千谷市避難所トイレ

平松 三武

突然発生した直下地震、今まで体験したことのないとの説明を受けた。全国的に地震が発生している現状、我が身を守るため、この研修で得たことを防災意識を高めることについて意識を高めていきます。

伊藤 公市

災害がもし発生したら①防災計画はできているか、その内容が町民によく理解されているか。②万が一の時、その計画どおり町民、地域、行政がともに機能するか。③その意味での、体に覚えこませる反復防災訓練が必要ではないか。

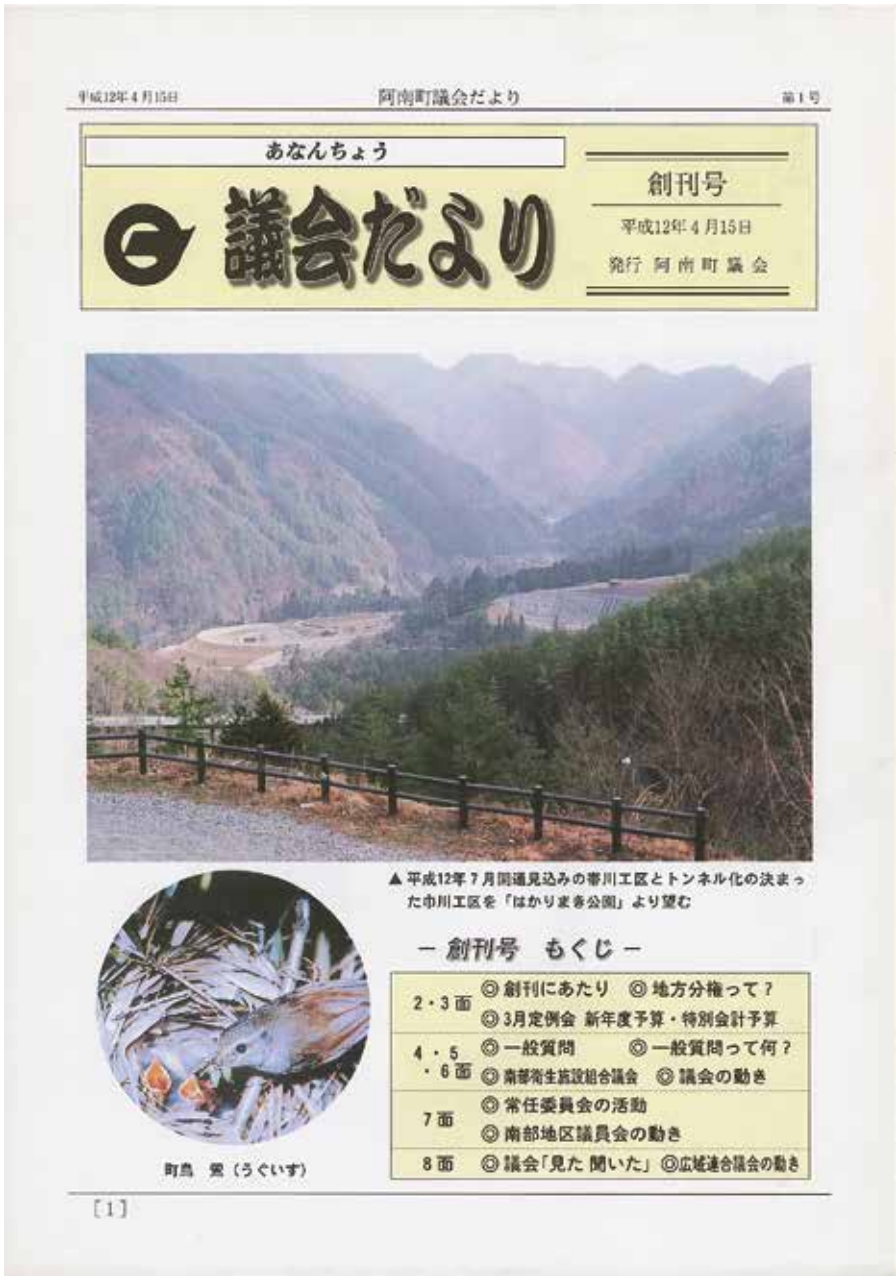
太田 直昭

○自分の身を守る行動を安全確認、避難場所へ○家族、近所の住民の安全を確認(共助)
○一週間分の食料、水、燃料、日頃の準備

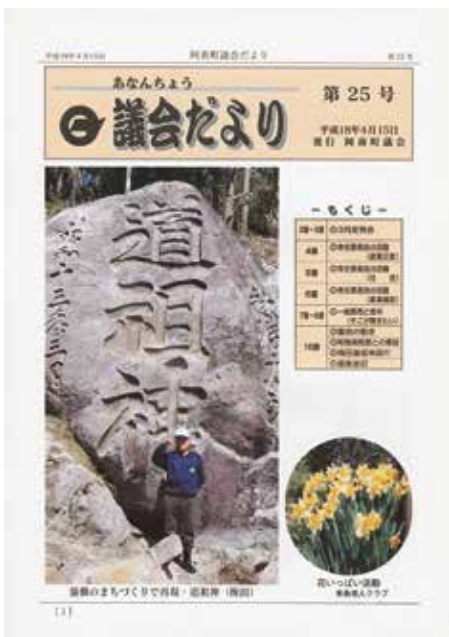
村澤 博光

もし災害が発生したら・災害対応について感じること
地震災害4つの備え

- ①物の備え・ライフライン遮断時に、被災生活に。
 - ②家の中の備え・転倒防止、そもそも家は丈夫か、想像する事(家中で安全なところは)。
 - ③安全非難の備え・車中避難は危険、避難時の経路、避難所は。
 - ④コミュニケーションの備え・家族、地域との普段のお付き合いが大
- 命最優先に、備え有れば憂いなし。



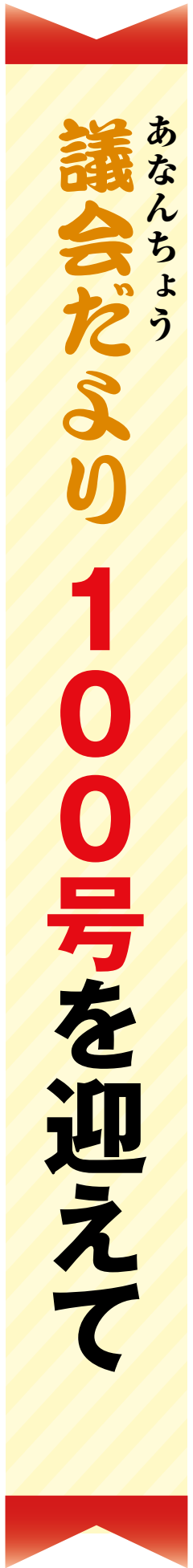
第1号 平成12年4月発行



第25号 平成18年4月発行



第12号 平成15年1月発行



— 表紙沿革 —



第75号 平成30年10月発行

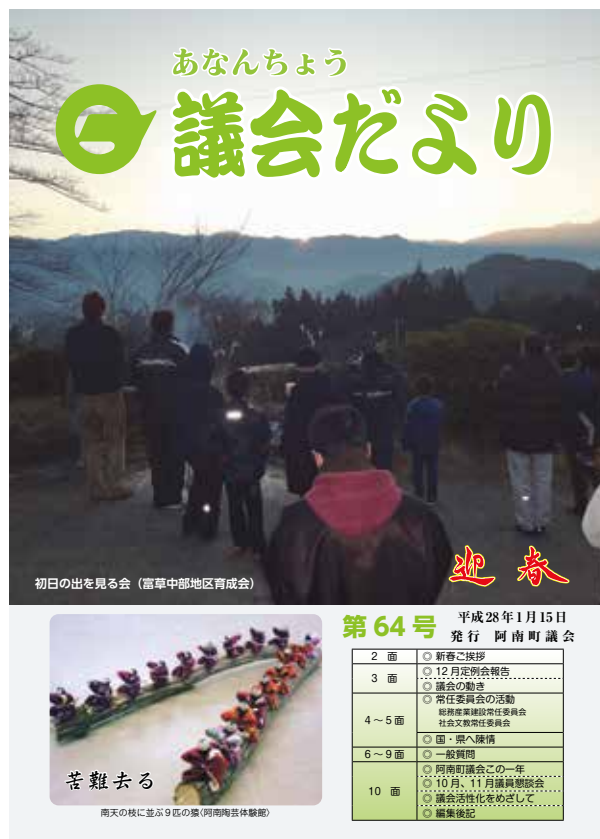


第50号記念特集号 平成24年7月発行

第65号から表紙デザインを一新した



第65号 平成28年4月発行



第64号平成28年1月発行

阿南町議会沿革

	議員数	常任 委員会数	人口
昭和 34 年 (合併当時)	24 名	4	10,173
昭和 38 年	20 名	4	10,277
昭和 42 年	20 名	4	9,298
昭和 46 年	20 名	4	8,259
昭和 50 年	20 名	4	7,856
昭和 54 年	20 名	4	7,544
昭和 58 年	18 名	3	7,258
昭和 62 年	18 名	3	7,168
平成 3 年	18 名	3	6,827
平成 7 年	18 名	3	6,610
平成 11 年	16 名	3	6,367
平成 15 年	16 名	3	6,076
平成 19 年	12 名	2	5,750
平成 23 年	12 名	2	5,311
平成 27 年	12 名	2	5,022
平成 31 年	12 名	2	4,585
令和 5 年	12 名	2	4,143
令和 9 年	10 名(予定)		

※人口は各年 5 月 1 日現在
(平成 31 年人口は令和元年 5 月 1 日現在)



主な内容

- ◆ 新年のご挨拶 議長 栗生 勝由・・・2
- ◆ 12 月定例会・町長のあいさつから・・・3～4
- ◆ 常任委員会・・・5
- ◆ 一般質問・・・6～14
- ◆ 国・県への提言活動・・・14
- ◆ 三瀬南信サミット
中学生との意見交換・・・15
- ◆ 南部地区議員交流会・・・15
- ◆ 議会の動き・話題のコーナー
編集後記・・・16

第 80 号 令和 2 年 1 月発行

100号に寄せて

編集委員長 太田 直昭

第 1 号発行は 25 年前。2000 (平成 12) 年の 4 月 15 日であった。

議会改革や議会の活性化が求められる時代で、一般質問の充実、議会広報の発行、議会の傍聴など、様々な手段で住民意識と町政への関心を高めようとしていた。

飯田市議会への傍聴や他町村から議会だよりの取り寄せなど資料集め、2 年 1 回の研修旅行では、先進町村議会との交流を深め、資質向上に努めていた。

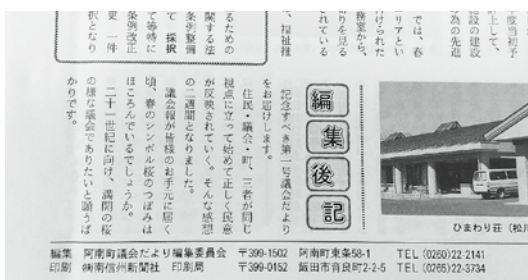
● 住民(町民)活動の写真による周知

● 町内の古木・銘木などの広報

● 文面の簡素化、写真の多用化など見やすい紙面づくりを考えた。

● 「議会の録画放映」も、その過程の中で発足した。

● 全議員に公平な紙面や、国政への関与を少なくする



議会だより第 1 号編集後記

更に詳しい情報は阿南町議会 HP へ

議会ホームページでは本議会詳細や、議会だよりをご覧いただけます。

阿南町議会

検索

<http://www.town.anan.nagano.jp/category/living-adm/town-information/an-an-gikai/>



編集後記

議会だより創刊より 25 年 100 号の発行となりました。長い年月の中で歩みは遅くとも、議会と町民とを結びつけられてきたと感じています。引き続きよろしくお願ひします。